

(別表第1の3)

[認知症対応型共同生活介護用]

1. 評価結果概要表

作成日 平成 20 年 4 月 16 日

【評価実施概要】

事業所番号	3870501628		
法人名	株式会社 セイフティー東予		
事業所名	グループホーム 竹トンボ		
所在地	新居浜市落神町3番11号 (電話) 0897-46-1113		
管理者	横川 崇		
評価機関名	愛媛県社会福祉協議会 利用者支援班		
所在地	愛媛県松山市持田町三丁目8-15		
訪問調査日	平成 20 年 2 月 25 日	評価確定日	平成 20 年 4 月 17 日

【情報提供票より】 (平成 20 年 2 月 5 日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 18 年 3 月 1 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	13 人	常勤 13 人, 非常勤 人, 常勤換算 11 人	

(2) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	40,000 円	その他の経費(月額)	19,000 円
敷金	有()円 ○ 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有()円 ○ 無	有りの場合 償却の有無	無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり	1,000 円	

(3) 利用者の概要 (平成 20 年 2 月 5 日事業所記入)

利用者人数	18 名	男性 3 名	女性 15 名
要介護 1	3 名	要介護 2	4 名
要介護 3	3 名	要介護 4	7 名
要介護 5	1 名	要支援 2	名
年齢	平均 83.7 歳	最低 67 歳	最高 91 歳

(4) 他に事業所として指定等を受けている事業及び加算

指定	あり	指定介護予防認知症対応型共同生活介護
指定	なし	指定認知症対応型通所介護
届出	なし	短期利用型共同生活介護
加算	なし	医療連携体制加算

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

自然の残る裾野にホームがあり、内部はゆったりと広い平屋建てである。開設から約2年が経ち、利用者・職員共に落ち着いた生活を送っている。2年を経過する間に利用者の自立度はやや低下してきているが、表情も行動も豊かである。職員の異動も少なく、質の向上に向けてチームで取り組んでいる。また地域との交流も少しずつできてきている。家族の面会は多く、情報交換も密にできている。日常的に利用者のさまざまなニーズに応え、変わらない生活を提供することを大切にしている。職員の育成も必要に応じて研修を計画するなど配慮している。

【質向上への取組状況】

▼ 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況 (関連項目: 外部4)

地域との関わりは、運営推進協議会の後押しを得ながら防災組織に入り、活動できるようになってきている。また栄養面での管理がスムーズにいくよう、栄養士により適宜チェックを受ける等、協力体制ができています。

▼ 今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4)

全職員が各々に自己評価し、話し合い、業務の振り返りとなった。また各項目について検討し、実践につなげたいと考えている。

▼ 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目: 外部4, 5, 6)

行事報告、ホームでの生活の紹介、行事等の取り組みなどについて話し合っている。防災・避難訓練実践後、地域と合同の組織を作って取り組む、自立度が低下してきている利用者への職員の対応に工夫・検討を続ける、忘年会等をはじめ様々な行動について報告し、具体的な方法を検討し意見を求める、などで出席者からの意見等をホームの運営に活かしている。

▼ 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7, 8)

家族の面会は多く、面会時には生活状況の報告や意見交換をしており、その際は家族が意見を話しやすいような対応に心がけている。また、ホーム内外への具体的な苦情相談の方法を明示して説明しており、意見箱も設置している。家族からの意見や、意見への対応について職員間で共有している。

▼ 日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)

自治会に入会し、行事などへも参加し、またホームの行事にも参加してもらっている。散歩、ドライブ等、外出時の交流も大切にしている。

(別表第1の2)

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

V. サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー
 “愛媛県地域密着型サービス評価”

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
 - 各自己評価項目について、「取り組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。
 - 「取り組みの事実」は必ず記入すること。
- (注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名

グループホーム 竹トンボ

(ユニット名)

コスモス

記入者(管理者)

氏名

近藤 サダ子

評価完了日

平成 20 年 2 月 5 日

(別表第1)

自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) フロアー会などで各職員一人ひとりの自分の目指す介護を発表してもらい、意見をまとめたものを再度フロアー会で検討し職員全体で理念を形成している。 (外部評価) 職員個々に目指す介護について意見を出し合い、まとめたものを検討し、地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていく理念を作り、利用者等の変化に伴って理念を再検討することも確認している。	※	既に行ってはいるが入居者のレベルが変化するとともに都度理念を変えていこうと考えている
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 都度会等のの念頭に理念を読み職員と共有している。また掲示板や職員用トイレにも掲示し日々目が届くようにしている (外部評価) 会議をはじめ日常業務の中で理念を確認し合っている。また、掲示板や職員トイレにも掲示しており、職員は身近に理念を受け止めて大切にしている。	※	具体的には取り組んでいるかどうかは解らないが長い目で見たケアプランや声かけ支援の中には生かしていると思っている。
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価) 運営推進会議などを通じて将来の理想などを地域の方や家族の方と話し合っている。	※	自治会にも加入し地元校区、自治会の行事にも参加していく。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 行事ごとや回覧板以外では地元自治会の方は殆ど来られては居ない。入居者の方と散歩の際出会えば挨拶は交わらせるようにはなっている。	※	今後入居者の方が気軽に地元自治会内を散歩できるよう地元自治会とともに検討していく。
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 地元自治会、校区の行事には積極的に参加している。又施設での行事にも運営推進会議の議題に上げ委員や地元自治会員の方たちにも参加していただいている。 (外部評価) 自治会にも入会し、地域活動や行事に参加して地域の方々との交流に努めている。また、ホームでの行事にも参加してもらっている。		
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 地域の高齢者の方たちに竹トンボを知っていただく為に年末にお餅を配り少しでも役立てになるよう勤めていく。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 前回の評価での改善点もフロア一会の議題にもいれ検討し取り組んでいる。 (外部評価) 評価全体の意義を理解したうえで、職員全員で自己評価に取り組んでいる。評価後の改善についても、会議等で話し合いながら取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 2ヶ月に1度の会で現状報告やサービスの報告、今後の課題などを話し合い、協力的な意見を頂いてサービスの向上に活かしている。 (外部評価) 2か月に1回の会議でホームの現状やサービス状況について報告し、具体的な意見を出してもらっている。出された意見は会議等で職員が共有し、サービスの向上に活かしている。		
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) 校区の会や地元自治会の行事や奉仕作業などにも出来る限り参加している。 (外部評価) 毎月の待機者報告をはじめ、各手続きや問い合わせ等で機会あるごとに連携に努めている。		
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 現在対象者は居ませんが、何名かは研修にも参加し、フローア会等で発表しみんなで情報を共有したりしている。		
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 何名かは研修にも参加し、フローア会等で発表しみんなで情報を共有したりしている。	※	勉強会を開催し具体的に勉強していく

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約は重要事項説明書、契約書を充分説明し理解していただいたうえで契約を交わしている。	※	利用者は立ち会っている場合もあるが理解、納得できているかどうかは充分ではないと思う
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 意見、不満を個々に聞き出来る限りは対応し、困難な場合には家族へ連絡し協力を得ているが全ての入居者に出来てはいないと思う。	※	
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 心身の状態や生活ぶりを毎月文章にして送付している。又年4回のホーム便りも送付し、緊急時などは随時電話連絡を行っている (外部評価) 毎月文書で利用者の状況を報告したり、面会時や電話等で随時連絡・報告している。家族の面会は多く、個々に報告できている。		
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 意見、苦情ボックスは設置しているが面会時などに随時管理者が生活状況やお互いの意見などを話し合っている。 (外部評価) 家族の面会時は、できるだけ意見等を話しやすいように配慮している。小さな事柄でも対応について検討し、結果を返している。ホーム内外の苦情相談窓口等については入所時に文書で説明し、具体的な連絡方法も玄関に掲示している。また、意見箱も設置している。		少しでも気軽に言いやすいような雰囲気作りをフロア一会などでも話し合い検討していく。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) フロア一会等で希望や入居者の対応などを話し合ったり個々に意見や様子を聞いたりもしている。	※	少しでも気軽に言いやすいような雰囲気作りをフロア一会などでも話し合い検討していく。
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 現在そういった要望は出てはいないが必要があれば職員全体で検討し調整していく。		
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 全職員を2ユニット兼務にしているので移動などは無く離職時も職員全員が全入居者に対応できるようにしている。 (外部評価) 職員の異動は少なく、馴染みの関係が保たれている。必要時には勤務状態が同じ職員で対応している。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 個々の能力にあった研修を受講してもらっている。研修で学んできたことはフロア一会等で発表してもらっている。 (外部評価) 新採用者には指導担当者をつけて、状態を見ながら対応している。経験者は個々に対応して外部研修を中心に参加し、報告書作成、伝達講習等で全職員の学びの機会にしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 相互研修には現時点では参加していないが連絡協議会などの外部研修会には積極的に参加し、他施設の職員とも交流や情報なども得ている。	※	来年度は相互研修参加を検討していく
			(外部評価) 外部研修や会議等に参加した際に情報交換している。	※	他ホームとの交流を予定しており、具体的な検討は今後進めていくことにしているため、より具体的な交流となるよう今後の取り組みに期待する。
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 管理者が個々に話や悩みを受けてはいるが全職員のストレスを軽減できているといえない	※	1人でも多くストレスの無い職場環境を形勢していくよう勤める
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 随時職員の努力や勤務状況を運営者に報告をしたり、年間の総評や今後の課題も運営者に報告している。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 入所時前面接を行い家族の希望や本人の希望や不安を聞き入所時に職員に情報を提供している		
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 重要事項や契約書の説明をすると共に施設の目的と機能を説明した上で不安や希望を聞くようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 入居者を面接した上でもっとも必要とされるような支援方法を検討し対応するよう勤めている		
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 入所時まず以前から入居されている方に紹介した上で気が合いそうな入居者や担当職員を配置ししばらく様子を見るよう勤めている (外部評価) 本人、家族との話し合いを十分行い、情報を収集し、家族の協力を得ながらサービスを提供している。職員間の情報交換は特に大切にしている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 一緒に出来ることは一緒に行い少し困難な場合にはさりげなく相手に不安や不満を与えないように勤めている。 (外部評価) 利用者は表情も豊かで、食事の準備等の場面では職員が教わることも多くある。落ち着いた雰囲気の中で、利用者同士の関わりもできている。		
28		○本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 家族とも色々な生活を報告した上で今後や現在の問題点について話し合い、必要であれば家族へ依頼し協力も得ている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 行事などや面会の際など出来る限り一緒なひと時を過ごしていただく様勤めている	※	遠方のご家族が来られた際には出来る限り外出や外泊を進めている。
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 出来る限り継続出来る様に勤めているが全員とは言えない。		
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 気の合う同士で過ごされていることは多く観られてはいるが全員とは言えない。	※	
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 開所以来退所された方からの関わり継続を必要とはされては居ないが依頼あれば関係を大切にしたいと思う。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 入所時やプラン作成の際は家族、本人の意向を聞き出来る限りプランに取り組んでいる (外部評価) 各利用者の言葉や行動が豊かであることから、職員は利用者の希望や思いを把握し、適切に対応していることがうかがえる。男性は髭剃りもできており、着衣や髪型もきちんとしておしゃれである。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 入所時面接や面会などで今までの職歴や生活歴、性格、趣味、職業などを聞き把握に努めている		
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 各担当で個々の出来る出来ないことをセンター方式の様式を使用し把握に努めている		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) カンファレンスや家族面会時、日々の入居者との会話の中で現時点で最も必要や希望されているプランを出来る限り取り入れ実践しているが全てのプランに出来ているとはいえない (外部評価) 利用者本人にとってよりよい生活となるよう、利用者・家族・職員の意見や思いを話し合って介護計画を立てている。		
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 心身状態変化があった場合には随時見直し検討しているが後の方は1ヶ月後とに経過と反省を行い検討している (外部評価) 利用者・家族・職員が情報交換しながら、1か月ごとに会議で評価している。また必要時には適宜見直している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 日々の生活はケース記録と業務日誌で記録されケアプランの実行表も日々記録し見直しにも役立っている		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) 当施設は多機能は実施できていないが入居者や家族に応じて柔軟な支援を出来る体制は整っていると思う。 (外部評価) 希望や状況に応じて、家族等と相談しながら支援している。墓参り、法事、理美容、受診、旅行等を楽しんでいる。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 校区の各役員の方々とは運営推進会議や行事を通じて協力を得ている。	※	これからも更なる横の繋がりができるよう積極的に地域に出て行き協力をしていきたいと考えている
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 現在は他のサービスを受けてはいないが本人やケアマネジャーから希望があれば検討していく。		
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 地域包括センターとは現在協働する問題は無いが今後は検討し協働していけるよう勤めていく。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 家族が対応できるなら依頼しているが遠方の場合には受診介助時主治医と相談しながら定期的な受診を支援している (外部評価) 本人のかかりつけ医と情報交換しながら適切な医療を受けられるよう支援している。緊急時はかかりつけ医や協力医療機関などと連携しながら、状況に応じた支援をしている。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 家族の意向を聞き専門員受診している入居者も居られるが全員とはいえない	※	専門受診を家族に進めた事もあるが現状は落ち着かれているので様子を見ている
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 看護職員は配置しておらず定期受診にて主治医に日常を報告している		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 主治医、家族の話し合いに管理者も参加し入院、退院計画を相談している。		
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 現段階ではターミナルケアは実施しておらず、医療行為が必要な場合には主治医と相談し医療機関に入院できるよう支援している (外部評価) 利用者・家族とも時々話し合いながら、終末期の対応について情報交換を継続している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 現在のところ対象者は1名で出来る限り支援している。要介護5で立位困難ではあるがトイレでの排泄を日中は実践し、フローア会などでも検討している。		
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 退去時は家族と相談しながら、他の施設への入所か医療機関への入院を支援している。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 気をつけて話をしているがプロ意識が薄いかからか方言交じりの声かけになることもある。記録へ出来る限り入居者の声を織り交ぜて記録している。 (外部評価) 職員は時々勉強会を開催しており、記録の仕方や保管についても理解している。言葉かけや対応も丁寧に行っている。	※	フローア会で話し合い徹底しプロ意識を形成していく
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 誕生日などには個々の希望を踏まえた催しを各担当者にておこなっているが日常全員に随時行っているとはいえない。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 出来る限り一人ひとりのペースを守るよう支援している。 (外部評価) 利用者のペースを大切にしており、大きな行事以外は本人の意向を大切に日々の生活を支援している。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 希望がある方については今まで通っていた美容室に行かされている。		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 日々献立を立てる際に聞いて回っているが同じ答えが多く帰ってくるので季節に応じた旬のものを取り入れて献立を立てている。準備、片付けなどは役割分担を行いながら入居者と共に行っている (外部評価) 献立は利用者の希望を聞いており、買い物・準備・後片付け等、できることに参加してもらっている。生き生きと役割を担っている方が多い。職員と共にそれぞれのペースで楽しく食事しており、支援の必要な方にもさりげなく対応している。		
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) タバコは地域性の問題もあり禁止ではあるがおやつなどは嗜好を聞きながら行っている。お酒に関しては日常で飲みたいと言われる男性入居者が1名居られるが主治医よりストップが掛かっている為行事の時飲まれている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 日々排尿パターンを記録し職員全体で把握し、機嫌を伺いながら支援している。		
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 希望を取り入れ毎日入浴できるようにしており、又夜間入浴も少数ではあるが実施している。 (外部評価) 毎日入浴は可能で、夜間も対応している。本人の状態に応じて2人での介助や介助用具を使用するなど、安心して入浴できるよう配慮している。脱衣室もゆったりしており、ベンチも配置している。		
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 日々の生活の中で昼夜逆転傾向など無い方は日中も自由に居室や畳にて休息されている		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) 役割やしたい事を出来る限り相談しながらケアプランにも取り組んで行っている (外部評価) 料理以外にも、本人の希望や生活歴を尊重しながら役割を楽しんでもらうような取り組みを行っている。掃除、園芸、手芸、音楽、買い物、ドライブ等も楽しんでいる。食後の中庭でのひなたぼっこや会話等、ゆったりとした生活で利用者同士の交流もできている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 家族が持たしている方については実施できているが全ての入居者とはいえない		
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) 天気や気温と相談しながら予定は立てずに外出をしているが希望通りとはいえない。 (外部評価) 天気や気温に配慮しながらドライブに出かけている。時には買い物、外食、季節の花見などを楽しんでいる。また、誕生日には希望によって職員と1対1で外出している。		
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) 職員が対応可能な場所であれば誕生日などの時に取り入れて入るが困難な場合には家族の協力も得ている。		
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 電話は基本的に事務所にしかないが依頼があれば使用している。手紙は季節ごとに暑中見舞いや年賀状を出来る限り直筆で郵送している		
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) 特に面会の制限はしておらず気軽に訪問できるような雰囲気作りに勤めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 開設以来身体拘束しないケアに取り組んでいる。		
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 鍵かけずに取り組んでいる。 (外部評価) 日中は玄関には鍵をかけておらず、自由に出入りできている。		
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 昼夜さりげなく見守りをし安心した生活を送っていただいている		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 特に気にしては居ないが生活に必要な最低限な物は普通においている		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) ヒヤリハットを記入し一人ひとりのリスクなどについてフロア会などでも話し合っている		


自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) フロア一会や研修などでも勉強している。	※	何時起きるか解らないといった緊張感を働きながら実践していく。
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 地元の防災組織に加入し協力を得たり協力をする体制を整えている。 (外部評価) 地域の防災組織に加入しており、協力体制は整っている。また、年2回訓練を実施している。平屋建てのため避難はしやすいが、さらに避難場所への道順など具体的な訓練を期待する。	※	地震等非常災害時の備蓄については、今後具体的に地域の方とも検討することを期待する。地域の避難場所への道順について、散歩を兼ねて何度か行き、不都合がないか検討することも期待する。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	(自己評価) 家族の面会時や随時電話などで生活の中におけるリスクなど説明し支援している。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 体調変化や心身の状況を申し送りを口頭や文章にて随時行っている。		
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 全員とはいえないがワーファリンやバイアスピリンや糖尿の薬など重要なものについては把握し日々状態観察を行っている	※	今後は全ての薬品のがあくに勤めていく

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 排泄チェック表に基づいて出来る限り内服には頼らず飲食物にて対応しているが本人訴え時や医師の指示あり内服処方されている方については定期的に服薬され排泄されている。		
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食後声かけや介助にて口腔ケアを行っている。		
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 医師からの糖尿や体重増加傾向の入居者については食事量にて対応し水分不足の入居者についてはお茶ゼリーやジュースなどで対応している。栄養チェックは栄養士さんに委託し行い指導を受けている。 (外部評価) 食事制限のある利用者については医師の指示を受け、主食で調節したり、水分量を決めるなどして対応している。時々栄養士によるチェックや指導を受けている。		
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) 感染症については、手洗い、消毒を気をつけて行っている。インフルエンザは入居者全員予防接種行っている。又年明けごろに嘔吐・下痢が流行った為保健所よりマニュアルと指導受け実行している。（1/9にて全員完治している）		
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 調理器具の日毎のハイター消毒の徹底し行い、調理者の手洗い消毒を徹底して行っている。食品は温度管理した食品庫で管理し気をつけている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 玄関の周りには植物や花、置き物など季節感などを考えて飾ったり、玄関前には行事等の写真も掲示している。		
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) リビングについては生活感がある花や飾り、写真などを置いているがトイレは特に何も置いていない。 (外部評価) ゆったりとした広さがあり、手すりの配置にも工夫がされている。時計、季節の草花や写真などが飾られ、居心地の良い雰囲気となっている。収納場所が多いためすっきりしている。トイレは広く利用しやすく、気になる臭いもない。		
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 1人っきりになれる場所は共有部分にはないがソファやベンチ、畳などで過ごせるような雰囲気作りをしている。		
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 居室は自分の使っていたものや仏壇などを持ってきた頂いたり鏡台や机なども使用していたものを出来る限り持ってきて頂いて使用してもらっている。 (外部評価) 仏壇、タンス、テレビ、ミシン、鏡台、机、人形、植木鉢、写真、時計など、利用者それぞれに馴染みのものや好みのものを持ち込んでおり、個性があり落ち着く居室となっている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 毎日朝、昼には換気を行い空気の入れ替えを行っている。温度調節も四季毎に数値を決めて行っている。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 全館バリアフリーで廊下、浴室、トイレにも手すりをあらゆるニーズに応えられるように設置している。	※	脱衣場の手すりの位置が悪い為改善する予定だが業者と検討中
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) 一人ひとりの力をフローア一等で検討し出来る限り自立支援をしているが全てとはいえない	※	少しでも多くの入居者が自立した生活が送れるよう職員全体で検討し支援に活かしていく。
87		○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) ユニットの間にはウッドデッキがあり天気の良い日や行事、レクにも活用できるようにしている。		

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目			
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	1 ほぼ全ての利用者の (自己 2 利用者の2/3くらいの 評価) ③ 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	趣味や特技(手芸・園芸)など出来る限り希望されている入居者様は行っている。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	(自己 ① 毎日ある 評価) 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	食事、水分補給、おやつ等できる限り一緒にゆったりと過ごしている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	(自己 1 ほぼ全ての利用者が 評価) 2 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	排泄や入浴、食事などマニュアル的に時間通りになっている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	(自己 1 ほぼ全ての利用者が 評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	外出や行事、趣味などを行っているときは表情が非常に良い。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	(自己 1 ほぼ全ての利用者が 評価) 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない	園庭には自由に出ているが敷地外には自由に出かけてはいない。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	(自己 1 ほぼ全ての利用者が 評価) 2 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	定期受診などには行っているが定期往診はなく不安が無いとはいえないと思う。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	(自己 1 ほぼ全ての利用者が 評価) 2 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	家族が近所に住まれており電話連絡などですぐに対応してくれる家族の協力を得ている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができていく	(自己 1 ほぼ全ての家族と 評価) ② 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	面会に来られる家族さんについては色々なお話が出来協力体制を頂いている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	(自己 1 ほぼ毎日のように 評価) ② 数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない	家族、友人などは面会に良く来られる。地域の方は行事等の際来援していただきボランティアをしてくださる

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	1 大いに増えている (自己 ② 少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない	運営推進会議の議題にも挙げ地元自治会や運営推進のメンバーと少しづつではあるが増えていると思う。
98	職員は、生き活きと働いている	1 ほぼ全ての職員が (自己 ② 職員の2/3くらいが 評価) 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	チーム全体で仲良くやりながら仕事をしている
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	全てとはいえないが出来る限りの支援を行っているが利用者の満足度は把握できてはいえないので日々努力に努めている。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての家族等が (自己 ② 家族等の2/3くらいが 評価) 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	面会時などの際会話し不安や悩みや生活状態などを行って確認はしているが満足度は把握できていないと思う

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

1. 運営推進会議を通じて地域との繋がりを強化していると共に地域の中で安心できる施設作りを目指しています。
2. 一人ひとりの残存能力を活かせるようケアプランにも取り入れて行き、入居者の役割や居場所作りを出来る限り支援している。

(別表第1の2)

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

V. サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー
 “愛媛県地域密着型サービス評価”

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
 - 各自己評価項目について、「取り組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。
 - 「取り組みの事実」は必ず記入すること。
- (注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホーム 竹トンボ

(ユニット名) 菜の花

記入者(管理者)
氏名 横川 崇

評価完了日 平成 20 年 2 月 5 日

(別表第1)

自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) フロア会などで各職員一人ひとりの自分の目指す介護を発表してもらい、意見をまとめたものを再度フロア会で検討し職員全体で理念を形成している。 (外部評価) 職員個々に目指す介護について意見を出し合い、まとめたものを検討し、地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていく理念を作り、利用者等の変化に伴って理念を再検討することも確認している。	※	既に行ってはいるが入居者のレベルが変化するとともに都度理念を変えていこうと考えている
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 都度会等のの念頭に理念を読み職員と共有している。また掲示板や職員用トイレにも掲示し日々目が届くようにしている (外部評価) 会議をはじめ日常業務の中で理念を確認し合っている。また、掲示板や職員トイレにも掲示しており、職員は身近に理念を受け止めて大切にしている。	※	具体的には取り組んでいるかどうかは解らないが長い目で見たケアプランや声かけ支援の中には生かしていると思っている。
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	(自己評価) 運営推進会議などを通じて将来の理想などを地域の役員の方や家族の方と話し合っている。	※	自治会にも加入し地元校区、自治会の行事にも参加していく。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 行事ごとや回覧板以外では地元自治会の方は殆ど来られては居ない。入居者の方と散歩の際出会えば挨拶は交わらせるようにはなっている。	※	今後入居者の方が気軽に地元自治会内を散歩できるように地元自治会とともに検討していく。
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 地元自治会、校区の行事には積極的に参加している。又施設での行事にも運営推進会議の議題に上げ委員や地元自治会員の方たちにも参加していただいている。 (外部評価) 自治会にも入会し、地域活動や行事に参加して地域の方々との交流に努めている。また、ホームでの行事にも参加してもらっている。		
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 地域の高齢者の方たちに竹トンボを知っていただく為に年末にお餅を配り少しでも役立てになるよう勤めていく。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 前回の評価での改善点もフロア一会の議題にもいれ検討し取り組んでいる。 (外部評価) 評価全体の意義を理解したうえで、職員全員で自己評価に取り組んでいる。評価後の改善についても、会議等で話し合いながら取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 2ヶ月に1度の会で現状報告やサービスの報告、今後の課題などを話し合い、協力的な意見を頂いてサービスの向上に活かしている。 (外部評価) 2か月に1回の会議でホームの現状やサービス状況について報告し、具体的な意見を出してもらっている。出された意見は会議等で職員が共有し、サービスの向上に活かしている。		
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) 校区の会や地元自治会の行事や奉仕作業などにも出来る限り参加している。 (外部評価) 毎月の待機者報告をはじめ、各手続きや問い合わせ等で機会あるごとに連携に努めている。		
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 現在対象者は居ませんが、何名かは研修にも参加し、フローア会等で発表しみんなまで情報を共有したりしている。		
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 何名かは研修にも参加し、フローア会等で発表しみんなまで情報を共有したりしている。	※	勉強会を開催し具体的に勉強していく

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約は重要事項説明書、契約書を充分説明し理解していただいたうえで契約を交わしている。	※	利用者は立ち会っている場合もあるが理解、納得できているかどうかは充分ではないと思う
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 意見、不満を個々に聞き出来る限りは対応し、困難な場合には家族へ連絡し協力を得ているが全ての入居者に出来てはいると思う。	※	
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 心身の状態や生活ぶりを毎月文章にして送付している。又年4回のホーム便りも送付し、緊急時などは随時電話連絡を行っている (外部評価) 毎月文書で利用者の状況を報告したり、面会時や電話等で随時連絡・報告している。家族の面会は多く、個々に報告できている。		
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 意見、苦情ボックスは設置しているが面会時などに随時管理者が生活状況やお互いの意見などを話し合っている。 (外部評価) 家族の面会時は、できるだけ意見等を話しやすいように配慮している。小さな事柄でも対応について検討し、結果を返している。ホーム内外の苦情相談窓口等については入所時に文書で説明し、具体的な連絡方法も玄関に掲示している。また、意見箱も設置している。		少しでも気軽に言いやすいような雰囲気作りをフロア一会などでも話し合い検討していく。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) フロア一会等で希望や入居者の対応などを話し合ったり個々に意見や様子を聞いたりもしている。	※	少しでも気軽に言いやすいような雰囲気作りをフロア一会などでも話し合い検討していく。
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 現在そういった要望は出てはいないが必要があれば職員全体で検討し調整していく。		
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 全職員を2ユニット兼務にしているので移動などは無く離職時も職員全員が全入居者に対応できるようにしている。 (外部評価) 職員の異動は少なく、馴染みの関係が保たれている。必要時には勤務状態が同じ職員で対応している。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 個々の能力にあった研修を受講してもらっている。研修で学んできたことはフロア一会等で発表してもらっている。 (外部評価) 新採用者には指導担当者をつけて、状態を見ながら対応している。経験者は個々に対応して外部研修を中心に参加し、報告書作成、伝達講習等で全職員の学びの機会にしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 相互研修には現時点では参加していないが連絡協議会などの外部研修会には積極的に参加し、他施設の職員とも交流や情報なども得ている。	※	来年度は相互研修参加を検討していく
			(外部評価) 外部研修や会議等に参加した際に情報交換している。	※	他ホームとの交流を予定しており、具体的な検討は今後進めていくことにしているため、より具体的な交流となるよう今後の取り組みに期待する。
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 管理者が個々に話や悩みを受けてはいるが全職員のストレスを軽減できているといえない	※	1人でも多くストレスの無い職場環境を形勢していくよう勤める
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 随時職員の努力や勤務状況を運営者に報告をしたり、年間の総評や今後の課題も運営者に報告している。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 入所時前面接を行い家族の希望や本人の希望や不安を聞き入所時に職員に情報を提供している		
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 重要事項や契約書の説明をすると共に施設の目的と機能を説明した上で不安や希望を聞くようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 入居者を面接した上でもっとも必要とされるような支援方法を検討し対応するよう勤めている		
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 入所時まず以前から入居されている方に紹介した上で気が合いそうな入居者や担当職員を配置ししばらく様子を見るよう勤めている (外部評価) 本人、家族との話し合いを十分行い、情報を収集し、家族の協力を得ながらサービスを提供している。職員間の情報交換は特に大切にしている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 一緒に出来ることは一緒に行い少し困難な場合にはさりげなく相手に不安や不満を与えないように勤めている。 (外部評価) 利用者は表情も豊かで、食事の準備等の場面では職員が教わることも多くある。落ち着いた雰囲気の中で、利用者同士の関わりもできている。		
28		○本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 家族とも色々な生活を報告した上で今後や現在の問題点について話し合い、必要であれば家族へ依頼し協力も得ている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 行事などや面会の際など出来る限り一緒なひと時を過ごしていただく様勤めている	※	遠方のご家族が来られた際には出来る限り外出や外泊を進めている。
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 出来る限り継続出来る様に勤めているが全員とは言えない。		
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 気の合う同士で過ごされていることは多く観られてはいるが全員とは言えない。	※	
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 開所以来退所された方からの関わり継続を必要とはされては居ないが依頼あれば関係を大切にしたいと思う。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 入所時やプラン作成の際は家族、本人の意向を聞き出来る限りプランに取り組んでいる (外部評価) 各利用者の言葉や行動が豊かであることから、職員は利用者の希望や思いを把握し、適切に対応していることがうかがえる。男性は髭剃りもできており、着衣や髪型もきちんとしておしゃれである。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 入所時面接や面会などで今までの職歴や生活歴、性格、趣味、職業などを聞き把握に努めている		
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 各担当で個々の出来る出来ないことをセンター方式の様式を使用し把握に努めている		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) カンファレンスや家族面会時、日々の入居者との会話の中で現時点で最も必要や希望されているプランを出来る限り取り入れ実践しているが全てのプランに出来ていない (外部評価) 利用者本人にとってよりよい生活となるよう、利用者・家族・職員の意見や思いを話し合っ介護計画を立てている。		
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 心身状態変化があった場合には随時見直し検討しているが後の方は1ヶ月後とに経過と反省を行い検討している (外部評価) 利用者・家族・職員が情報交換しながら、1か月ごとに会議で評価している。また必要時には適宜見直している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 日々の生活はケース記録と業務日誌で記録されケアプランの実行表も日々記録し見直しにも役立っている		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) 当施設は多機能は実施できていないが入居者や家族に応じて柔軟な支援を出来る体制は整っていると思う。 (外部評価) 希望や状況に応じて、家族等と相談しながら支援している。墓参り、法事、理美容、受診、旅行等を楽しんでいる。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 校区の各役員の方々とは運営推進会議や行事を通じて協力を得ている。	※	これからも更なる横の繋がりができるよう積極的に地域に出て行き協力をしていきたいと考えている
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 現在は他のサービスを受けてはいないが本人やケアマネジャーから希望があれば検討していく。		
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 地域包括センターとは現在協働する問題は無いが今後は検討し協働していけるよう勤めていく。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 家族が対応できるなら依頼しているが遠方の場合には受診介助時主治医と相談しながら定期的な受診を支援している (外部評価) 本人のかかりつけ医と情報交換しながら適切な医療を受けられるよう支援している。緊急時はかかりつけ医や協力医療機関などと連携しながら、状況に応じた支援をしている。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 家族の意向を聞き専門員受診している入居者も居られるが全員とはいえない	※	専門受診を家族に進めた事もあるが現状は落ち着かれているので様子を見ている
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 看護職員は配置しておらず定期受診にて主治医に日常を報告している		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 主治医、家族の話し合いに管理者も参加し入院、退院計画を相談している。		
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 現段階ではターミナルケアは実施しておらず、医療行為が必要な場合には主治医と相談し医療機関に入院できるよう支援している (外部評価) 利用者・家族とも時々話し合いながら、終末期の対応について情報交換を継続している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 現在のところ対象者は1名で出来る限り支援している。要介護5で立位困難ではあるがトイレでの排泄を日中は実践し、フローア会などでも検討している。		
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 退去時は家族と相談しながら、他の施設への入所か医療機関への入院を支援している。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 気をつけて話をしているがプロ意識が薄いかからか方言交じりの声かけになることもある。記録へ出来る限り入居者の声を織り交ぜて記録している。 (外部評価) 職員は時々勉強会を開催しており、記録の仕方や保管についても理解している。言葉かけや対応も丁寧に行っている。	※	フローア会で話し合い徹底しプロ意識を形成していく
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 誕生日などには個々の希望を踏まえた催しを各担当者にておこなっているが日常全員に随時行っているとはいえない。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 出来る限り一人ひとりのペースを守るよう支援している。 (外部評価) 利用者のペースを大切にしており、大きな行事以外は本人の意向を大切に日々の生活を支援している。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 希望がある方については今まで通っていた美容室に行かされている。		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 日々献立を立てる際に聞いて回っているが同じ答えが多く帰ってくるので季節に応じた旬のものを取り入れて献立を立てている。準備、片付けなどは役割分担を行いながら入居者と共に行っている (外部評価) 献立は利用者の希望を聞いており、買い物・準備・後片付け等、できることに参加してもらっている。生き生きと役割を担っている方が多い。職員と共にそれぞれのペースで楽しく食事しており、支援の必要な方にもさりげなく対応している。		
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) タバコは地域性的問題もあり禁止ではあるがおやつなどは嗜好を聞きながら行っている。お酒に関しては日常で飲みたいと言われる男性入居者が1名居られるが主治医よりストップが掛かっている為行事の時飲まれている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 日々排尿パターンを記録し職員全体で把握し、機嫌を伺いながら支援している。		
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 希望を取り入れ毎日入浴できるようにしており、又夜間入浴も少数ではあるが実施している。 (外部評価) 毎日入浴は可能で、夜間も対応している。本人の状態に応じて2人での介助や介助用具を使用するなど、安心して入浴できるよう配慮している。脱衣室もゆったりしており、ベンチも配置している。		
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 日々の生活の中で昼夜逆転傾向など無い方は日中でも自由に居室や畳にて休息されている		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) 役割やしたい事を出来る限り相談しながらケアプランにも取り組んで行っている (外部評価) 料理以外にも、本人の希望や生活歴を尊重しながら役割を楽しんでもらうような取り組みを行っている。掃除、園芸、手芸、音楽、買い物、ドライブ等も楽しんでいる。食後の中庭でのひなたぼっこや会話等、ゆったりとした生活で利用者同士の交流もできている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 家族が持たしている方については実施できているが全ての入居者とはいえない		
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) 天気や気温と相談しながら予定は立てずに外出をしているが希望通りとはいえない。 (外部評価) 天気や気温に配慮しながらドライブに出かけている。時には買い物、外食、季節の花見などを楽しんでいる。また、誕生日には希望によって職員と1対1で外出している。		
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) 職員が対応可能な場所であれば誕生日などの時に取り入れて入るが困難な場合には家族の協力も得ている。		
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 電話は基本的に事務所にしかないが依頼があれば使用している。手紙は季節ごとに暑中見舞いや年賀状を出来る限り直筆で郵送している		
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) 特に面会の制限はしておらず気軽に訪問できるような雰囲気作りに勤めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 開設以来身体拘束しないケアに取り組んでいる。		
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 鍵かけずに取り組んでいる。 (外部評価) 日中は玄関には鍵をかけておらず、自由に出入りできている。		
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 昼夜さりげなく見守りをし安心した生活を送っていただいている		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 特に気にしては居ないが生活に必要な最低限な物は普通においている		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) ヒヤリハットを記入し一人ひとりのリスクなどについてフロア会などでも話し合っている		


自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) フロア一会や研修などでも勉強している。	※	何時起きるか解らないといった緊張感を働きながら実践していく。
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 地元の防災組織に加入し協力を得たり協力をする体制を整えている。 (外部評価) 地域の防災組織に加入しており、協力体制は整っている。また、年2回訓練を実施している。平屋建てのため避難はしやすいが、さらに避難場所への道順など具体的な訓練を期待する。	※	地震等非常災害時の備蓄については、今後具体的に地域の方とも検討することを期待する。地域の避難場所への道順について、散歩を兼ねて何度か行き、不都合がないか検討することも期待する。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	(自己評価) 家族の面会時や随時電話などで生活の中におけるリスクなど説明し支援している。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 体調変化や心身の状況を申し送りを口頭や文章にて随時行っている。		
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 全員とはいえないがワーファリンやバイアスピリンや糖尿の薬など重要なものについては把握し日々状態観察を行っている	※	今後は全ての薬品のがあくに勤めていく

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 排泄チェック表に基づいて出来る限り内服には頼らず飲食物にて対応しているが本人訴え時や医師の指示あり内服処方されている方については定期的に服薬され排泄されている。		
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食後声かけや介助にて口腔ケアを行っている。		
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 医師からの糖尿や体重増加傾向の入居者については食事量にて対応し水分不足の入居者についてはお茶ゼリーやジュースなどで対応している。栄養チェックは栄養士さんに委託し行い指導を受けている。 (外部評価) 食事制限のある利用者については医師の指示を受け、主食で調節したり、水分量を決めるなどして対応している。時々栄養士によるチェックや指導を受けている。		
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) 感染症については、手洗い、消毒を気をつけて行っている。インフルエンザは入居者全員予防接種行っている。又年明けごろに嘔吐・下痢が流行った為保健所よりマニュアルと指導受け実行している。（1/9にて全員完治している）		
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 調理器具の日毎のハイター消毒の徹底し行い、調理者の手洗い消毒を徹底して行っている。食品は温度管理した食品庫で管理し気をつけている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 玄関の周りには植物や花、置き物など季節感などを考えて飾ったり、玄関前には行事等の写真も掲示している。		
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) リビングについては生活感がある花や飾り、写真などを置いているがトイレは特に何も置いていない。 (外部評価) ゆったりとした広さがあり、手すりの配置にも工夫がされている。時計、季節の草花や写真などが飾られ、居心地の良い雰囲気となっている。収納場所が多いためすっきりしている。トイレは広く利用しやすく、気になる臭いもない。		
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 1人つきりになれる場所は共有部分にはないがソファやベンチ、畳などで過ごせるような雰囲気作りをしている。		
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 居室は自分の使っていたものや仏壇などを持ってきた頂いたり鏡台や机なども使用していたものを出来る限り持ってきて頂いて使用してもらっている。 (外部評価) 仏壇、タンス、テレビ、ミシン、鏡台、机、人形、植木鉢、写真、時計など、利用者それぞれに馴染みのものや好みのものを持ち込んでおり、個性があり落ち着く居室となっている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 毎日朝、昼には換気を行い空気の入れ替えを行っている。温度調節も四季毎に数値を決めて行っている。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 全館バリアフリーで廊下、浴室、トイレにも手すりをあらゆるニーズに応えられるように設置している。	※	脱衣場の手すりの位置が悪い為改善する予定だが業者と検討中
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) 一人ひとりの力をフローア一等で検討し出来る限り自立支援をしているが全てとはいえない	※	少しでも多くの入居者が自立した生活が送れるよう職員全体で検討し支援に活かしていく。
87		○建物の外周リや空間の活用 建物の外周リやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) ユニットの間にはウッドデッキがあり天気のいい日や行事、レクにも活用できるようにしている。		

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目			
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	1 ほぼ全ての利用者の (自己 2 利用者の2/3くらいの 評価) ③ 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	趣味や特技(手芸・園芸)など出来る限り希望されている入居者様は行っている。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	(自己 ① 毎日ある 評価) 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	食事、水分補給、おやつ等できる限り一緒にゆったりと過ごしている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	(自己 1 ほぼ全ての利用者が 評価) 2 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	排泄や入浴、食事などマニュアル的に時間通りになっている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	(自己 1 ほぼ全ての利用者が 評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	外出や行事、趣味などを行っているときは表情が非常に良い。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	(自己 1 ほぼ全ての利用者が 評価) 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない	園庭には自由に出ているが敷地外には自由に出かけてはいない。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	(自己 1 ほぼ全ての利用者が 評価) 2 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	定期受診などには行っているが定期往診はなく不安が無いとはいえないと思う。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	(自己 1 ほぼ全ての利用者が 評価) 2 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	家族が近所に住まれており電話連絡などですぐに対応してくれる家族の協力を得ている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができていく	(自己 1 ほぼ全ての家族と 評価) ② 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	面会に来られる家族さんについては色々なお話が出来協力体制を頂いている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	(自己 1 ほぼ毎日のように 評価) ② 数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない	家族、友人などは面会に良く来られる。地域の方は行事等の際来援していただきボランティアをしてくださる

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	1 大いに増えている (自己 ② 少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない	運営推進会議の議題にも挙げ地元自治会や運営推進のメンバーと少しづつではあるが増えていると思う。
98	職員は、活き活きと働いている	1 ほぼ全ての職員が (自己 ② 職員の2/3くらいが 評価) 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	チーム全体で仲良くやりながら仕事をしている
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	全てとはいえないが出来る限りの支援を行っているが利用者の満足度は把握できてはいえないので日々努力に努めている。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての家族等が (自己 ② 家族等の2/3くらいが 評価) 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	面会時などの際会話し不安や悩みや生活状態などを行って確認はしているが満足度は把握できていないと思う

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

1. 運営推進会議を通じて地域との繋がりを強化していると共に地域の中で安心できる施設作りを目指しています。
2. 一人ひとりの残存能力を活かせるようケアプランにも取り入れて行き、入居者の役割や居場所作りを出来る限り支援している。